

令和2年度における経営協議会学外委員からの 意見を踏まえた法人運営の改善について

○ 令和2年5月22日 第2回経営協議会

「新型コロナウイルス感染症への対応について」に係る報告時における意見

コロナ禍において経済的に困窮している学生に対して、奨学金を創設するなど大学独自の取組を検討してほしい。

〈対応〉

2020年4月以降入学の学部生を対象として創設した「一橋大学基金学生支援給付金」において、2020年度は全学年の学部生・大学院生のうち新型コロナウイルスの影響による経済困窮学生にも対象を広げ、合計108名に1人あたり10万円の支給を行った。

○ 令和2年10月23日 第5回経営協議会

「第4回社会科学の発展を考える円卓会議について」に係る報告時における意見

新学部・研究科の創設に向けた取組の一環として、四大学連合やその他の大学、企業等の資源を活用し、大学を超えた取組を推進してほしい。

〈対応〉

新学部・研究科の創設に向けて連携をより深めつつある。例えば、東京工業大学が推し進める「マルチスコープ・エネルギー卓越人材」プログラムに参画し、本学教員のクロスアポイントメントに係る協定を締結する等、ビッグデータサイエンスと社会構想力をもって、新しいエネルギー社会を変革・デザインする人材の養成に向けた取組を開始した。

○ 令和2年11月27日 第6回経営協議会

「国立大学法人一橋大学統合報告書2020」について」に係る報告時における意見

研究業績の事例を充実するなどして、広く社会に対して積極的に情報発信を行ってほしい。

〈対応〉

2021年度の統合報告書について、同様の内容構成で併存する財務レポートとの一本化を図るとともに、本学の活動内容とそれに関連する財務情報を明確にし、また、本学の研究業績事例を充実するなどにより、情報の受け手側にとってより見やすく訴求力のあるものとしたうえで、広く情報発信を行うこととした。